

# 地方創生SDGs金融を通じた 自律的好循環形成に向けて

地方創生SDGs金融調査・研究会



第 8 回地方創生SDGs金融調査・研究会 有識者会議

2021年11月1日

## 本日の内容

### 日時 アジェンダ(案)

#### 第7回

9月24日  
13:00 – 15:00

- ① 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状
  - 地方創生SDGsの全体像と調査研究会の取組経緯
  - 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状
- ② 本年度の調査研究会のテーマと進め方
  - 本年度の調査研究会における検討事項
  - 地方創生SDGs金融／本年度の各回のアジェンダ

#### 第8回

11月1日  
10:00 – 12:00

- ① 第7回調査・研究会における議論の振り返り
- ② 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果
- ③ 地方創生SDGs金融表彰制度 (案)
- ④ 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施
- ⑤ 今後のスケジュール確認

#### 第9回

11月16日  
10:00 – 12:00

- ① 地方創生SDGs金融表彰制度 最終確認
- ② 地方創生SDGs金融表彰制度 選考スケジュール確認
- ③ 地方創生SDGs金融表彰制度 実施方法確認

# 本資料の内容

1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り
2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要
3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について
4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について
5. 年度内のスケジュール確認

# 本資料の内容

- 1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り**
- 2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要**
- 3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について**
- 4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について**
- 5. 年度内のスケジュール確認**

➤ 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項① 金融表彰 制度の創設

論点1:  
表彰対象

表彰対象は、  
地方公共団体等+  
地域金融機関等  
の連携支援スキームの構  
築とする。

1. 「地方公共団体等」とは、都道府県、市区町村の他、外郭団体、第三セクター等、国や地方公共団体が出資する団体を想定する。  
「地域金融機関等」とは、地方銀行、信用金庫、信用組合の他、都市銀行や信託会社、保険会社等の地方支店、農業協同組合等の金融機関を想定する。

⇒**表彰対象要件について、FAQにも記載**

2. 「地方公共団体等+地域金融機関等」は、1対1の構造だけでなく、1対n、n対1、n対nの可能性がある。よって、それらに対応し得る応募用紙の構成とする。

⇒**応募用紙にて、応募可能なフォームとした。**

➤ 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項① 金融表彰 制度の創設

論点2:  
表彰要件

表彰要件は表彰案A  
(≒支援スキームの構築  
に対する表彰)とする。

案B「成果（アウトプット）」案C「影響（アウトカム）」は加点要件とし、創出する意図やロジックモデルも評価する。

登録認証制度の有無に関わらず、地域事業者等に対する支援を通じた、自律的好循環の形成が重要

3. 必須要件としての「支援スキームの構築」に加え、支援取組を通じて、期待される「成果（アウトプット）」・「影響（アウトカム）」についての意思・ロジックを応募用紙に記述を求める形式とする。

⇒**成果・影響を創出しないと応募できない誤認の補足説明を、FAQに記載。**  
(※支援スキーム構築で応募が可能)

4. 登録認証制度の構築を必須要件として、認識している地方公共団体等や地域金融機関等の存在を、インタビューで確認した。

⇒**登録等制度に関わらず、応募可能の旨、FAQに記載。**

- 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項① 金融表彰 制度の創設

#### 論点3: 評価項目

評価項目の項目名、評価内容について、ワーディング含めて精査が必要。

5. 前回提示した評価項目の定義について修正を実施。「透明性」の必須項目を追加。ただし、HP公表等のレベルとする。

⇒後述、第8回議題として、表彰制度（案）の評価項目で確認し、諮る。

評価項目一覧の整理。

6. 必須項目、加点項目の再整理。「透明性」に関する欠格要件の設定。

⇒後述、第8回議題で確認し、諮る。

➤ 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項① 金融表彰 制度の創設

論点4:  
選考委員

選考委員会の委員は、地方創生推進室長が委嘱する者による。

公平性かつ透明性のある運営のため、選考委員会からは、案件に応じて利害関係（\*右記載）のある選考委員を外れることを認める体制とする。

7. 選考委員と応募者との間に下記の利害関係が生じている場合、当該委員は当該応募案件の選考を行わない。

（例：利害関係の例示）

- 選考委員が所属、勤務している団体から応募があった場合
- 応募案件に何らかの形で選考委員が関与している場合
- 上記以外でも、利害関係等の観点を考慮し、選考委員の申出により、該当案件の選考評価から外れることを認める

- 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項② 金融表彰 イベントの 方向性

#### 実施方針

表彰イベントの実施判断には、①「母集団の存在」②「公募・選考期間」③「大臣表彰稟議」が必要。

表彰対象を、**地方公共団体等＋地域金融機関等**としたことから、双方の記述内容の確認や申請稟議期間をふまえ、想定以上にリードタイムが必要と判明し、開催スケジュールの議論が必要。

8. 本日、今年度の地方創生SDGs金融関連イベント実施方針については以下の3案から進め方を検討したい。

案①：本年度表彰を実施する  
（22年1月中旬 国際フォーラム）

案②：本年度表彰を実施する  
（22年3月中旬 内閣府）

案③：本年度はモデル事例発表にする  
（22年1月中旬 国際フォーラム）

⇒後述にて、今後の進め方を検討する。

➤ 第7回調査・研究会の論点および結果概要に基づき、下記の確認事項を諮りたい。

## 第7回の論点

## 結果概要

## 確認事項

### 検討事項③ 実態調査 の進め方

#### 評価項目

実態調査（Webアンケート、インタビュー）の実施目的の再確認。

①表彰対象候補（地方公共団体・地域金融機関）からのアンケート回答に基づき、連携支援実績を確認すること。

②「登録認証制度」および、策定中の「表彰制度」に関し、今後の普及展開に向けた示唆を得ること。

9. アンケート調査の結果、各対象における現時点での、連携支援実績としては **77件** となった。※重複16件

地方公共団体 **29件**

地域金融機関 **64件**

（※各々の回答結果に基づく。）

**後述、実態調査結果概要として報告する。**

10. アンケートの調査分析「登録認証等制度」の普及展開および「表彰制度」の創設・イベント実施判断の双方に活用

**後述、実態調査結果概要として報告する。**

# 本資料の内容

1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り

2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要

3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について

4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について

5. 年度内のスケジュール確認

➤ 第7回の調査研究会後に、以下詳細にて、「地方創生SDGs金融」アンケート調査を行った。

## 「地方創生SDGs金融」アンケート調査概要

<b>実施目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 地方創生SDGs金融表彰制度創設のための連携支援実績の把握</li> <li>✓ 表彰イベントの年度内開催可否の判断</li> </ul>	
<b>対象</b>	<b>地方公共団体</b>	<b>地域金融機関</b>
<b>Web アンケート</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象：地方公共団体</li> <li>2. 期間：9月29日~10月14日</li> <li>3. 有効回答率 50.0% (894/1788)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象：地域金融機関</li> <li>2. 期間：9月29日~10月14日</li> <li>3. 有効回答率 67.3% (396/588)</li> </ol>
<b>インタビュー</b>	川崎市、北九州市、 埼玉県、滋賀県 長野県、横浜市	川崎信金、滋賀銀行、静岡銀行

- Webアンケートの結果、地域事業者等へ連携支援している事例数は、77件となった。
- うち、地方公共団体が「29」件、地域金融機関が「64」件である。詳細は下記。
- そのうち、地方公共団体と地域金融機関との双方認識が一致しているのは「16」件。  
⇒認識一体していない事例を促進・深堀する事で、応募対象の拡大が見込まれる。

## 地方公共団体

「連携支援実績」 X=29件

母集団の定義： $X=[x1]+[x2]-1$

- [x1]：登録認証制度を構築済みで、地域金融機関と連携し、地域事業者を「支援」している地方公共団体（16件）

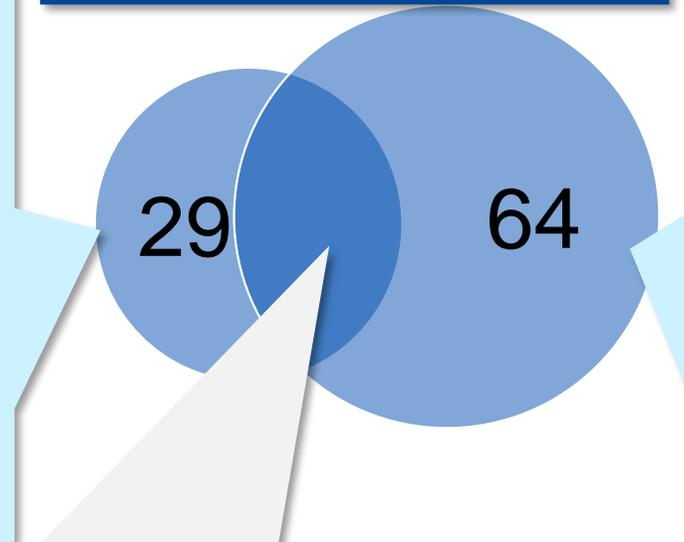
- [x2]：登録認証制度を未構築で、地域金融機関と連携し、地域事業者を「支援」している地方公共団体（14件）

- [x1][x2]重複1件

## 応募対象の母集団

連携支援実績件数

77件 (29+64-16)



## 地域金融機関

「連携支援実績」 Y=64件

母集団の定義： $Y=[y1]+[y2]$

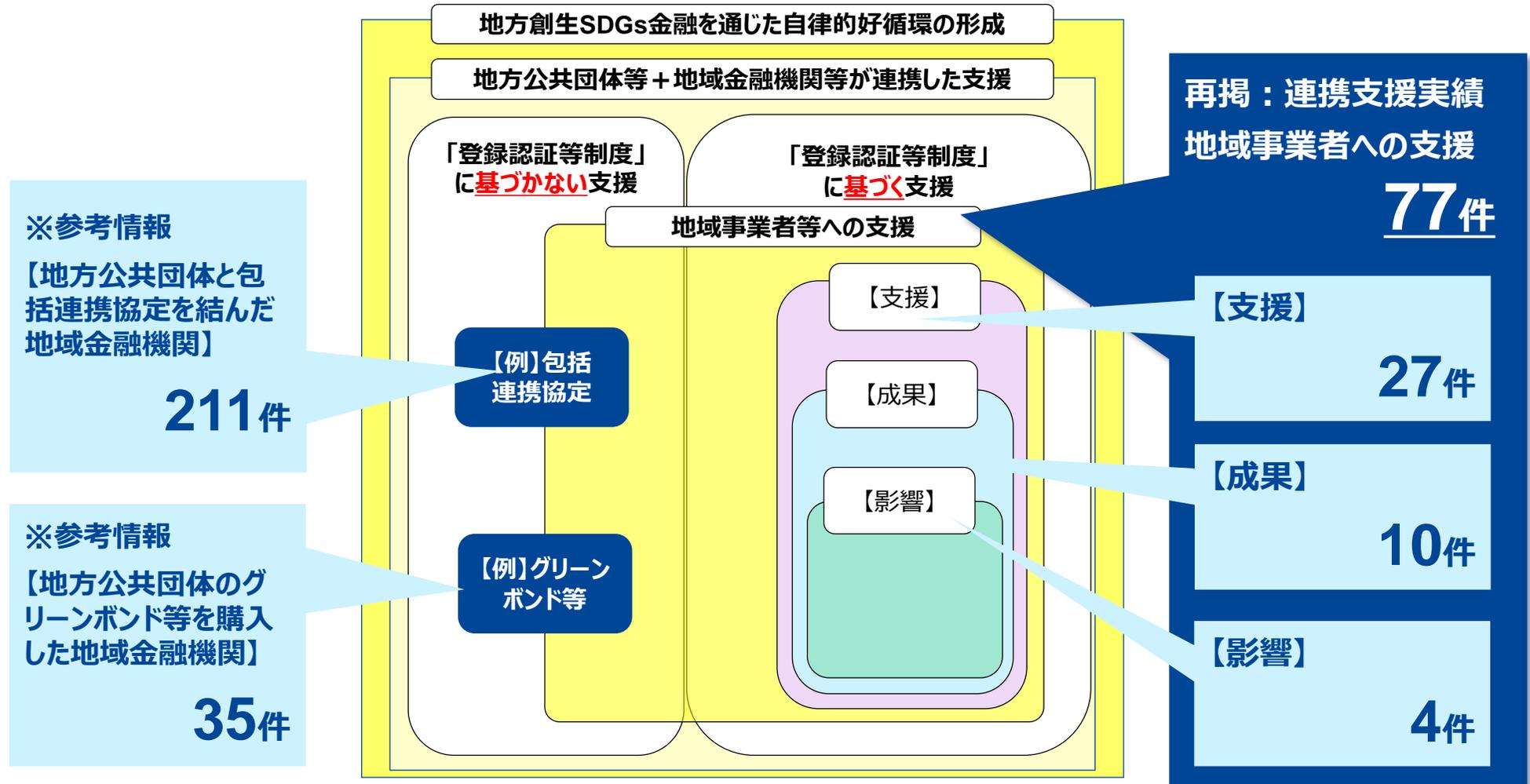
- [y1]：地方公共団体の登録認証制度と連携し、地域事業者を「支援」している地域金融機関（24件）

- [y2]：地方公共団体の登録認証制度に関わっていないが、地方公共団体と連携し、地域事業者を「支援」している地域金融機関（40件）

## 地方公共団体 + 地域金融機関

双方の認識が一致している「連携支援実績」 16件

- 「地方創生SDGs金融」アンケート結果における、連携支援実績：**77件**の内訳を記載した。
- 「登録等制度」に基づく支援実績の内訳は、**支援 27件 成果 10件 影響 4件**
- 「登録等制度」に基づかない実績は、**50件**（地域事業者等への支援は不明の為、絶対値のみ）



# 本資料の内容

1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り
2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要
3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について
4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について
5. 年度内のスケジュール確認

- 表彰制度概要を下記に示し、第9回調査研究会にて表彰制度を確定させる。

### 表彰制度概要

目的	SDGsを原動力とした地方創生に取り組む地域事業者に対して、地方公共団体等および地域金融機関等が連携した支援スキームを表彰し、地域における資金の還流と再投資を生み出す「地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成」に資する取組を普及推進することを目的とする。
表彰の対象	地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成に資する取組を推進し、特に顕著な功績がみられた <b>地方公共団体等および地域金融機関等</b> とする。
表彰者	内閣府特命担当大臣（地方創生）が行う。
表彰の時期	年1回行う。
表彰数	最大5件程度とする。
選考委員会	選考委員会の委員は、地方創生推進室長が委嘱する者による。

- 評価項目と概要については下記の通り。項目ごとに必須項目・加点項目に分類する。
- 必須項目は記載を必須（形式要件）とする。

## 地方創生SDGs金融表彰制度 評価項目一覧

項目名	概要	必須/加点
汎用性 (モデル性)	事例・スキーム等が具体的に明記され、他の地方公共団体等および地域金融機関等で参考事例となり、横展開が可能であるか。	必須
官民協働	地方公共団体等および地域金融機関等との連携体制が構築され、達成すべき目標や具体的な取組方針等が共有され、協働しているか。	必須
実効性	実効性の高い支援スキームを構築しているか。	必須
持続性	地方公共団体等の総合計画や地域金融機関等の中期経営計画等に位置付けられ、持続可能な支援スキームかどうか、また地域への継続的な波及効果が見込まれるか。	必須
透明性	支援取組の状況や成果を対外的に公表しているか。	必須
独自性	独創的な視点・斬新な支援スキームを構築しているか。	加点
実績	支援取組によって創出された、「成果（アウトプット）」。 ・支援取組（資金支援）により獲得した、融資件数・融資額。 ・支援取組（非資金支援）により実現した課題解決（内容・件数等）。	加点
インパクト	「成果（アウトプット）」によって創出された、地域の経済、社会、環境へ与えた／与える影響・変化（アウトカム）。	加点

- 応募書面の主な構成・記載内容については以下のとおり。
- PartIIでは前述した評価項目に対する自己評価を記述してもらう。

## 主な構成と記載内容

### Part I 基本情報

（地方公共団体・地域金融機関とも）に代表者を記入）  
応募団体名、住所、担当、担当者名、メール、電話

### Part II 支援取組 概要 ・ 評価項目 別の自己 評価記載

- ・取組のタイトル（45字）
- ・登録認証等制度かどうか（選択）
- ・支援取組の目的（200字）
- ・支援取組の概要（1000字）

- ・各評価項目に対するコメント
  - 汎用性（300字）
  - 官民協働（300字）
  - 実効性（300字）
  - 持続性（300字）
  - 透明性（300字）
  - 独自性（300字）
  - 実績（300字）
  - インパクト（300字）
- ・自由記述

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙			
■基本情報①：地方公共団体等（代表）			
属性	地方公共団体等		
(フリガナ) 応募団体名			
住所	〒	都道府県 選択してください	市区町村
担当部署課名		担当者名	
Email	XXXX@mail.com	電話番号	
■基本情報②：地域金融機関等（代表）			
属性	地域金融機関等		
(フリガナ) 応募団体名			
住所	〒	都道府県 選択してください	市区町村
担当部署課名		担当者名	
Email	XXXX@mail.com	電話番号	

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙	
■応募する「地域事業者への支援の取組（以下、支援取組）」の概要	
タイトル (45字以内)	
■「登録認証等制度」に基づく支援取組か※登録認証等制度に基づかない支援取組も応募可	
■支援取組の目的 地域の目指す姿・やりたい姿について、また、その将来像の実現に向けた本支援取組の位置づけ(200字以内)	
■支援取組の内容 ※平易な表現で簡潔に記述願います。また、内容等の取り付けはご所属の地方公共団体等/地域金融機関等との間における、連携・支援スキームや支援取組の内容(1000字以内)	
■支援取組の自己評価	
a.汎用性(モデル性)(300字以内、以下項目も同様)	
b.官民協働	
c.実効性	
d.持続性	
e.透明性 ※記載していたURLは、地方創生SDGs金融の取組事例として内閣府HPに公開させていただきます。	
f.独自性	
g.支援の成果/期待する成果(実績がまだ出ていない場合)	
h.インパクト/期待するインパクト(インパクトがまだ出ていない場合)	
■その他(※自由記述、400字以内)	

- 本表彰制度は、応募時点で成果がなくても、「支援スキームの構築」ができていれば表彰対象とする。
- 応募者に対しては「支援スキームの構築」後の「実績（アウトプット）」、「影響（アウトカム）」を創出する意志やロジックを記入頂きたく、FAQや記入要領でもその旨を伝えていく。下表は例示。

第1回地方創生SDGs金融表彰 応募用紙	
■応募する「地域事業者への支援の取組（以下、支援取組）」の概要	
タイトル (45字以内)	
■「登録認証等制度」に基づく支援取組が※登録認証等制度に基づかない支援取組も応募可	
■支援取組の目的 地域が目指す姿・在りたい姿について、また、その将来像の実現に向けた本支援取組の位置づけ(200字以内)	
■支援取組の内容 ※平易な表現で簡潔に記述願います。また、四角等の罫り付けはご遠慮 地方公共団体等/地域金融機関等との間における、連携・支援スキームや支援取組の内容(1000字以内)	
■支援取組の自己評価	
a.汎用性(モデル性)(300字以内、以下項目も同様)	
b.官民協働	
c.実効性	
d.持続性	
e.透明性 ※記載頂いたURLは、地方創生SDGs金融の取組事例として内閣府HPに公開させていただきます。	
f.独自性	
g.支援の継続/期待する継続(継続がまだ出ていない場合)	
h.インパクト/期待するインパクト(インパクトがまだ出ていない場合)	

## 支援の目的

自治体Aは大手の下請けとなる中小企業を数多く抱える。かかる企業の脱炭素化を推進することで、地域としての産業競争力の維持を企図している。

## 支援スキーム

自治体Aが構築した登録認証制度と連携し、金融機関Aが自社金融商品における融資先の環境取組の評価に活用する仕組みを構築。

## 期待される実績 (アウトプット)

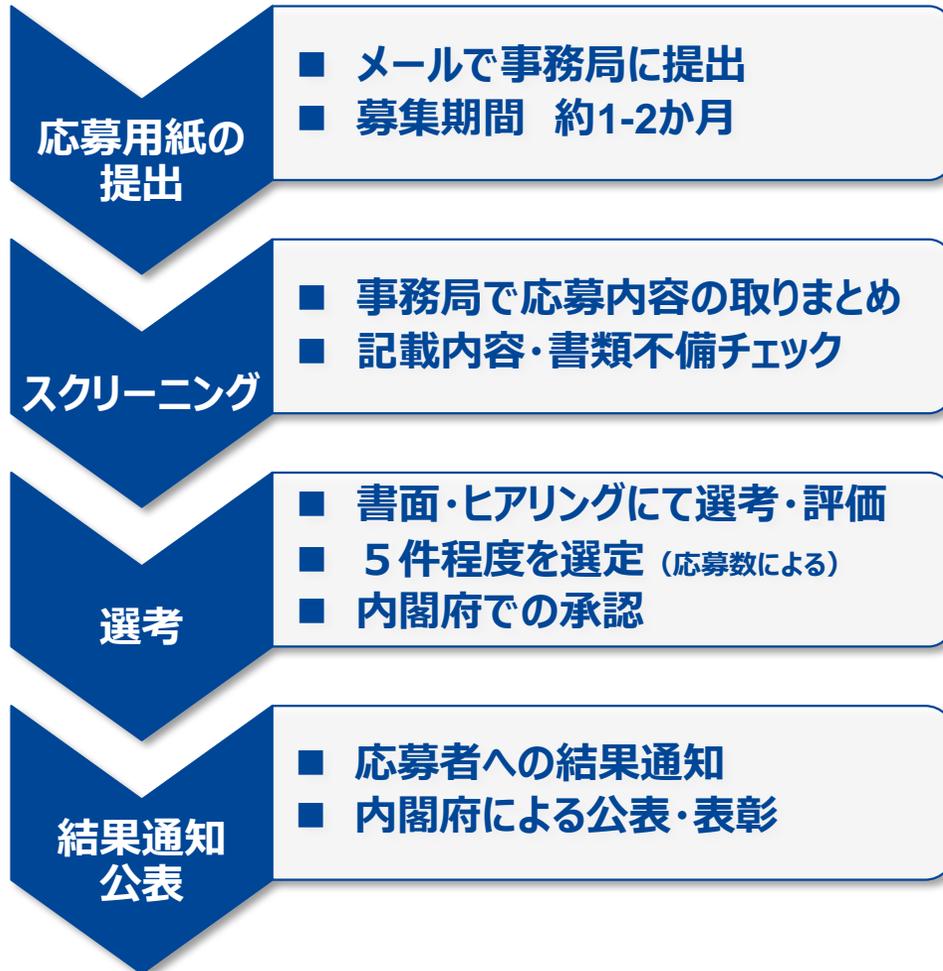
金融機関Aは2023年までに、当該地域でXX件程度の融資契約を目指す。自治体Aは、そのうちYY件が登録認証制度に新規で認証取得することを目指す。

## 期待される影響 (アウトカム)

自治体Aは同様の取組みを、他の金融機関への横展開することを目指す。金融機関Aは地域の脱炭素に資する融資総額ZZZ、Co2にしてXXトンの削減に貢献することを目指している。

- 選考プロセスは以下の通り。
- 選考委員と応募者の関係性については、公平性を担保するため、以下のように整理したい。

## 主な選考プロセス



## 選考委員と応募者の関係性

選考委員と応募者との間に下記の利害関係が生じている場合、当該委員は当該応募案件の選考を行わない。

（例：利害関係の例示）

- 選考委員が所属、勤務している団体から応募があった場合
- 応募案件に何らかの形で選考委員が関与している場合
- 上記以外でも、利害関係等の観点を考慮し、選考委員の申出により、該当案件の選考評価から外れることを認める

# 本資料の内容

1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り
2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要
3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について
4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について
5. 年度内のスケジュール確認

- 前述の実態調査結果に基づき、今年度は以下、**3つのイベント実施案**として列挙する。
- 実施判断には、①「母集団の存在」②「公募・選考期間」③「大臣表彰稟議」が必要。
- 双方からの記述内容の確認や申請稟議期間をふまえると、想定以上に応募期間の設定が必要。

## 本年度表彰を実施する場合 案①：国際フォーラム表彰

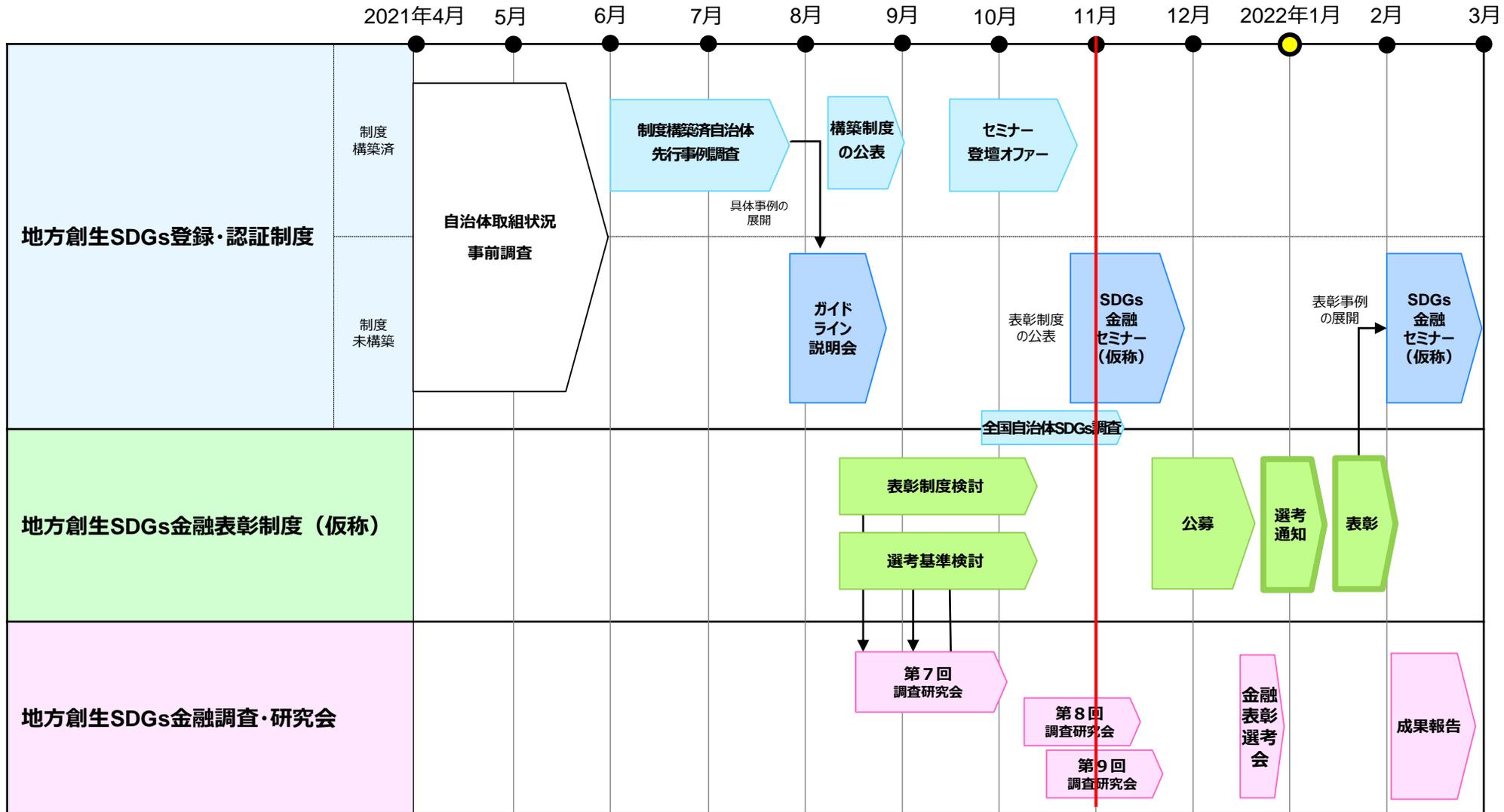
## 本年度表彰を実施する場合 案②：年度末表彰

## 本年度表彰を実施しない場合 案③：モデル事例紹介

<p>スケジュール</p>	<p>11月01日 第8回 調査研究会 11月16日 第9回 調査研究会</p> <p>11月22日 第1回表彰募集開始 (表彰制度説明会)</p> <p>12月17日 募集〆切 12月24日 選考終了 12月28日 結果通知</p> <p>01月14日 表彰イベント</p>	<p>11月01日 第8回 調査研究会 11月16日 第9回 調査研究会</p> <p>12月上旬 第1回表彰募集開始 (表彰制度説明会)</p> <p>1月上旬 募集〆切 2月中旬 選考終了 2月下旬 結果通知</p> <p>3月中旬 表彰イベント@内閣府</p>	<p>11月01日 第8回 調査研究会 11月16日 第9回 調査研究会</p> <p>11月下旬 モデル事例抽出分析 12月中旬 モデル事例交渉決定</p> <p>01月14日 モデル事例発表 @国際フォーラム</p>
<p>備考</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際フォーラム表彰に合わせるの は双方からの記述内容の確認や 申請稟議期間には日程がタイト。</li> <li>・募集開始後、説明会等で表彰 制度への応募を促進する必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>案①③に比べて、スケジュール (公募～選考)に余裕がある。</u></li> <li>・<u>モデル事例紹介ではなく、表彰を 実施する事でより周知させたい。</u></li> <li>・募集開始後、説明会等で表彰 制度への応募を促進する必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際フォーラムでの実施ならば、 事例照会がよいのではないか。</li> <li>・<u>モデル事例紹介することで好事例 が表彰できないのは勿体ない。</u></li> </ul>

# 本資料の内容

1. 第7回調査・研究会における議論の振り返り
2. 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果概要
3. 地方創生SDGs金融表彰制度（案）について
4. 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施について
5. 年度内のスケジュール確認



## 次回の内容

## 日時 アジェンダ(案)

## 第7回

9月24日  
13:00 – 15:00

- ① 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状
  - 地方創生SDGsの全体像と調査研究会の取組経緯
  - 地方創生SDGs金融のこれまでの取組と現状
- ② 本年度の調査研究会のテーマと進め方
  - 本年度の調査研究会における検討事項
  - 地方創生SDGs金融／本年度の各回のアジェンダ

## 第8回

11月1日  
10:00 – 12:00

- ① 第7回調査・研究会における議論の振り返り
- ② 地方創生SDGs金融表彰実施にむけた実態調査 結果
- ③ 地方創生SDGs金融表彰制度 (案)
- ④ 地方創生SDGs金融表彰制度 イベント実施
- ⑤ 今後のスケジュール確認

## 第9回

11月16日  
10:00 – 12:00

- ① 地方創生SDGs金融表彰制度 最終確認
- ② 地方創生SDGs金融表彰制度 選考スケジュール確認
- ③ 地方創生SDGs金融表彰制度 実施方法確認